

バグダッド 日誌 (6月18日)

○コアリション副部長 [] ファアウエル・パーティー

昨日コアリション・オペレーション部副部長 [] のファアウエル・パーティーが実施された。[] は多変な親日・知日家で時計はセイコー、ジョギング・シューズはミズノ、アメリカの自宅の乗用車はトヨタ、ボートのエンジンはヤマハ等々とにかく日本の製品を愛している。好きなのは日本製品ばかりではない。横田で勤務したことがあり、日本人の礼儀正しさや几帳面さから「日本」を大変信用してくれている。他のコアリションLOがいない時は「Most favorite coalition country, Japan! 」と言って、大佐のオフィスに私を招待し、日本に勤務していた当時の思い出話に花を咲かせていた。大佐は日米同盟の重要性を強調してくれる心強い理解者である。

[] は私が調整で困っている時など何度も骨を折ってくれた。特にバグダッド到着当初に調整が上手くいかなくて意気消沈していた私を心配して、わざわざ日本隊コンテナまで励ましに来てくれたこともあった。また私が実施した調整に誤解が生じて、コアリション内で大変な思いをしたことがあったが、この時も[] は、「俺はもう定年退官を迎える。この誤解の責任は俺がとるから心配するな。」と私を守ってくれる親分肌の頼もしい上司であった。今思い返しても語り尽くせない思い出が蘇ってくる。「エイプリル・フール」で騙されたり、オフィス内でアメフト・ボールでキャッチ・ボールをしていてプリンターを壊してしまったのも[] との良い思い出である。

[] は、今回の任務が終了後所属部隊のドイツに一旦戻り、その後アメリカに帰国し定年退官を迎えると自分では言っている。(私は是非将官に昇任して勤務を続けて欲しいと思っている。)

イラク任務終了後もお互いに連絡を取り合い、アメリカ・日本を訪問した際は必ず遊びに行くことを約束した。私がアメリカを訪問した際は「トヨタのピックアップ・トラックで海に行き、ヤマハのプレジャー・ボートで釣りをして、寿司を食べよう。」と嬉しいことを言ってくれる。ここでの付き合いは一生ものだと、つくづく有り難く感じている。

また今回のファアウエル・パーティーでは、サマーワから送って頂いた記念品を渡すことができ、[] も大変感動していた。いつもながらサマーワには感謝している。